



盛岡市プレスリリース

～ひと・まち・未来が輝き 世界につながるまち盛岡～

令和3年11月29日
商工労働部
ものづくり推進課

市政記者クラブ加盟社 各位

盛岡AI・IoTプラットフォーム事業

「盛岡市デジタル技術実証実験事業補助金」を活用した実証実験を行います

市では、今年度新たに開始した「盛岡AI・IoTプラットフォーム事業」の1つとして、情報通信技術の活用による産業の高度化を図るため、IT事業者等が市の区域内でデジタル技術実証実験事業を行う場合に要する経費に対し、『盛岡市デジタル技術実証実験事業補助金』を創設しました【補助金予算2,000千円（1者上限1,000千円）】。

先に公募型プロポーザルを行い補助対象事業者として、2者（湊運輸倉庫株式会社、株式会社プラスプラス）を選定したところですが、この度、うち1者が実証実験を開始することとなりました。

つきましては、次のとおり実証実験に係る取組の一部を公開しますので、是非、御取材いただけますと幸いです。

記

- 事業目的 「xR技術活用によるさんさ踊り等伝統文化伝承の実証実験」
次世代のxRデバイスとして注目されるMagiCap上で3D映像が動作するアプリケーションを開発するもの。
- 実施主体 株式会社プラスプラス
- 実証実験内容 人が集まらない「新しい生活様式」においても、盛岡地域の伝統文化「さんさ踊り」を疑似的に体験できるよう、xRを活用した3D（仮想）空間において、動画を越えた、これまで以上にリアルな映像体験ができる環境を整備し、今後も演舞の主役として活躍する若者達の関心を強く引き寄せ、伝統文化の継承に寄与するとともに、そのPR効果をもって地域経済の支援に貢献する。
- スケジュール（予定）
令和3年8～10月 キャラクター作成
11～12月 3Dモデリング・モーションキャプチャー・録音
9～12月 xR開発（MR・VR）
2月 実証実験
- 今回の工程
3D映像の中でアニメキャラクターがさんさ踊りを踊りますが、その踊りをミスさんが演じ、モーションキャプチャーという方式でデータ撮りをします。また、太鼓、笛、唄のこの録音をします。
※1 データ撮りと録音の時間（尺）は10分程度です。
※2 アイーナ環境によっては盛岡市新事業創出支援センターに移動することがあります。
- 日時及び場所
12月5日（日）午後2時～ アイーナ6階リハーサル室（盛岡駅西通1丁目7-1）
- 関連情報
<実証実験公募型プロポーザル結果> 市公式ホームページ：ページ番号1035693
<https://www.city.morioka.iwate.jp/jigyousha/1026070/kogyo/1035693.html>

【お問合せ先】

盛岡市商工労働部ものづくり推進課
工業振興係 上森貞行（うわもりさだゆき）
TEL：019-626-7538